報道関係者各位
Press　Release

こんぶの日/大阪/昆布

2026年11月12日
株式会社舞昆のこうはら

北海道の昆布生産量が過去最少へ！“こんぶの日”にちなみ11/18（水）開催！
大阪のこんぶ店「舞昆のこうはら」で工場見学＆食と睡眠セミナー
～参加無料　“京都の顔”田渕岩夫さん司会、社長の昆布講談と試食付き～

大阪のこんぶ店「舞昆のこうはら」(本社:大阪市住之江区東加賀屋1-3-40、代表取締役社長：鴻原森蔵)は、11月15日の「こんぶの日」にちなみ、2026年11月18日（水）13時から本社かがや店で、参加無料の「**工場見学＆食と睡眠セミナー**」を開催します。生産量が過去最少となる見通しの昆布のいまを、社長が講談で語ります。

かがや店では当日13時より、社長の昆布講談、大釜で舞昆を炊く工場の見学、試食の様子をご取材いただけます。司会の田渕岩夫さんの映像・音声も放送・掲載にお使いいただけます（決まりましたらご一報ください）。社長へのインタビューも可能ですので、ぜひお問い合わせくださいませ。

■“大阪の味”を支える昆布が危機！生産量は30年余りで4分の1以下に

うどんやたこ焼き、鍋料理など“大阪の味”は、昆布のだしが支えてきました。国産昆布の9割以上を占める北海道で、2026年度の生産量が7,479トンと過去最少になる見通しです（北海道漁連の集計）。3万トンを超えていた30年余り前の4分の1以下で、温暖化による海水温の上昇が影響しているとみられます。当社は、大阪湾や淡路島・沼島で昆布の養殖にも挑戦しています。

当日は代表・鴻原が、北前船で昆布を運んだ淡路島出身の船主・高田屋嘉兵衛の時代から今の不漁までを“昆布講談”で語ります。続く「食と睡眠セミナー」は、3月に大阪市立阿倍野市民学習センターで開いた講座が3日で予約が埋まり、キャンセル待ちが出た人気のテーマです（監修：管理栄養士）。司会は、KBS京都テレビの情報番組で17年以上司会を務めた“京都の顔”、タレントの田渕岩夫さんです。鴻原との掛け合いで楽しくご案内します。

工場見学では、大きな釜で舞昆を炊く様子や袋詰めの様子など、普段は見られない製造現場をご案内します。見学の後は舞昆と白ご飯の試食もご用意。こんぶの日を機に、昆布のいまを楽しく知っていただければと思います。



■「工場見学＆食と睡眠セミナー」開催概要

日　　時：2026年11月18日（水）13時～14時30分
場　　所：舞昆のこうはら かがや店（大阪市住之江区東加賀屋1-3-40、加賀屋東小学校グラウンド前）
　　Osaka Metro四つ橋線「玉出駅」4番出口、南海本線「粉浜駅」から徒歩約10分
内　　容：①社長の昆布講談（こんぶと北前船、昆布の不漁、野菜と昆布のミネラル、たもぎ茸のお話）
　　②食と睡眠セミナー（監修：管理栄養士）　③かがや工場の見学　④舞昆と白ご飯の試食
司　　会：田渕岩夫さん　　参加費：無料　　定員：30名（事前申込制・抽選）
応募方法：お電話、公式LINE、または店頭・チラシの専用フォームよりお申込みください

■「舞昆のこうはら」について

大阪公立大学との共同研究で生まれた塩昆布風発酵食品「舞昆」を看板に、「おいしく、体にいい食品づくり」を続ける創業65年のこんぶ店です。2025年大阪・関西万博に出展。大阪湾と淡路島・沼島で昆布の養殖にも挑戦しています。

社　　名：株式会社舞昆のこうはら
代表取締役：鴻原森蔵
本社所在地：大阪市住之江区東加賀屋1-3-40
事業内容　：塩昆布風発酵食品「舞昆」の製造・販売、
　　健康食材の研究開発、化粧品原料の研究開発
舞昆のこうはら ： https://maikon.tv/

舞昆のいま／チラシPDF


舞昆のこうはら　かがや店

＜ 取材に関するお問合せ先 ＞
株式会社 舞昆のこうはら　広報事務局　　担当 ：小村　TEL：06-4708-3766　　EMAIL：pr@raple.co.jp